

園長だより



みどりっこ



幼保連携型認定こども園

No. 2 3

宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園 園長 久島 孝昭 R1. 11. 1

先週末、ようやくインフルエンザ予防接種をしました。接種したからと言って絶対に罹患しないということではありませんが、罹患しても重症化しないということなので、少しは安心かなと思っています。今日から11月。午前5時頃、南天を見るとオリオン座が出ていて、もう冬がそこまできているのかとびっくりです。最近、特に朝は寒く感じますね。子どもはもちろん、保護者の皆さんも体調管理には十分お気を付けください。

○ 教育実習生が来ています。

28日(月)から宮崎学園短期大学保育科1年生第1班48人が31日(木)までの4日間、教育実習に来ました。6人から7人のグループに分かれて、年少から年長までのクラスに入って、職員の教育・保育の様子を見学したり、子どもたちと一緒に遊んだりして、幼稚園教諭の仕事や子どもの様子について学びました。来週は第2班57人が5日(火)から8日(金)まで教育実習に来てくれます。



子どもたちは、若い先生たちがたくさん来てくれて、とてもうれしそうです。

○ 絵画コンクールで年少のお友達が最優秀賞を受けました。

「こども絵画コンクール ～WE LOVE にちなん～」で年少たんぽぽ組のはやしこさんが描いた「やったー！乗ったよ！海幸山幸」が未就学児の部で最優秀賞を受賞し、その作品が、26日(土)付けの宮日こども新聞に掲載されました。

元気いっぱいの構図に大胆な色使いで、いかにも楽しそうな作品です。

昨年のこのコンクールでは、この春卒園したおにいちやんのてっしんくんも最優秀賞を受賞しています。

きょうだい続けての受賞、おめでとうございます。



○ 卒園児も活躍しています。

26日(土)付けの宮崎日日新聞に第3回九電みやざき小中学生絵画コンクールの入選作品が掲載されていました。その中で、本園をこの春卒園したくろきにこさんの作品が優秀賞、おおくまはるとくんの作品が佳作を受賞していました。本園の卒園生が小学校でも活躍してくれているのはうれしいですね。

○ ハロウィン

ヨーロッパやアメリカを中心に10月31日に行われている伝統的な行事ハロウィン。本園でも31日に保育園部の子どもたちが、カボチャのお面をかぶったり、マントをしたりして、楽しく過ごしました。年長の子どもたちも製作遊びで大きなカボチャを描いて雰囲気盛り上げていました。

子どもたちの話を聞くと、家庭や、友達と一緒にハロウィンを楽しんだという話を聞きました。今年は暦の関係で、週末に楽しむ人もいるかもしれませんね。くれぐれも昨年の渋谷の騒動みたいなことだけは避けてほしいものです。



○ 吉永小百合さんの生き方

先週末、NHKの「クローズアップ現代」を久しぶりに見ました。今回は鶴田浩二さん亡き後「最後のスター」と呼ばれているそうですが、吉永小百合さんを取り上げられていました。10代から映画女優として活躍し、70歳を過ぎた今でも主演を演じています。本人は自分のことをアマチュアだと言っておられましたが、その役に取り組む姿勢はまさにプロフェッショナルそのものだと感じました。常に謙虚で、向上心が強く、今の自分に満足しない。いつまでも成長し続けようとされています。日常の備えも怠らず今でも週に何回かはウェイトトレーニングや体幹トレーニングをされています。だからこそ、この年齢になっても立ち姿がすっとしていてきれいなのだな、と納得しました。

吉永さんは「今の自分に満足したら、そこで終わり」と言っておられました。満足してしまったら、それ以上の成長を自ら諦めることになるから、ということなのでしょう。また、「仕事をさせられる」「仕事をしなければならない」と考えると、どうしても義務的で、人からさせられるような感じを受けます。しかし、「この仕事をしたい」「この仕事が好きだ」と考えれば、主体的に前向きに取り組むことができるでしょう。私も、園長として、人として、成長し続けたいと思いました。子どもたちにも「前向きに生きる」ということを伝えていきたいと思います。

○ 体調管理をお願いします。

冒頭でも書きましたが、朝の冷え込みがずいぶん厳しくなってきたように感じます。登園する時に長袖シャツや上着を着て来る子どもも多くなりました。また、鼻水が出ている子ども、マスクをしている子どももいます。空気も乾燥してきましたので、うがいや手洗いを小まめに行い、体調を崩さないようご注意ください。

朝は寒く感じても、昼間は風がないと陽が当たる所では暑く感じます。衣服の着脱を小まめにすることも必要になります。年少の子どもたちは制服から体操服、体操服から制服に着替えることがずいぶんスムーズにできるようになってきましたが、まだボタンやネクタイの掛け外しに苦労している子どももいます。家庭でもボタンの掛け外しの練習などをさせていただくとともに、登園する際の上着はできるだけ一人で着脱できるようなものをお願いします。フード付きの上着での登園は、視野が狭くなったり、周囲の音が聞き取りづらくなったりしますので、避けてください。

ところで、10月20日(日)付けの宮崎日日新聞に百日ぜきの、27日(日)付けにはりんご病の感染者が増えているとの記事がありました。どちらも幼児が半数を占めているそうです。百日ぜきは6か月以下の乳児が重症化しやすく、りんご病は妊婦が感染すると胎児に感染し、流産や胎児への影響があるそうなので、お気をつけください

